

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

令和8年3月31日

計画の名称	1 1 通学児童等の安全・安心を確保するための道づくり (防災・交通安全)						重点配分対象の該当	○
計画の期間	令和8年度 ~ 令和12年度 (5年間)	交付対象	北九州市					
計画の目標								

通学児童の安全確保及び危険な交差点等の交通安全向上を図るため、通学路等における歩道設置や交差点改良等の交通安全対策を推進し、安全・安心に通行できる道路交通環境を創出するもの。
また、歩行者の安全を確保しながら、自転車や自動車など誰もが安全で快適に移動できるよう、北九州市自転車活用推進計画などに基づき、自転車通行空間の整備を推進していく。

計画の成果目標 (定量的指標)

北九州市通学路交通安全プログラムに基づく「毎年度」の対策要望箇所のうち、道路管理者における安全対策が必要な箇所の対策を実施した割合90%を目指す。
令和12年度までに、北九州市自転車活用推進計画で目標としている自転車通行空間の整備完了を目指す。

定量的指標の定義及び算定式

通学路の安全対策要望箇所の対策済み率
・対策済み率 (%) = 対策済箇所数 / 対策立案箇所数

自転車通行空間の整備済み率
・整備済み率 (%) = 整備済延長 / 自転車活用推進計画の整備計画延長

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値						備考
	当初現況値 (R8当初)	中間目標値 (R10末)	最終目標値 (R12末)				
	0%	90%	90%				
	50%	80%	100%				

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	4,210百万円	A	4,210百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	----------	---	----------	---	------	---	------	---	------	-----------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業														全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)								
											R8	R9	R10					R11	R12
A-1	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	交安	(国) 通学路A	歩道整備・交差点改良	北九州市	■	■	■	■	■	439	-		
A-2	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	交安	(県) 通学路A	歩道整備・交差点改良	北九州市	■	■	■	■	■	651	-		
A-3	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	交安	(市) 通学路A	歩道整備・交差点改良	北九州市	■	■	■	■	■	830	-		
A-4	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	交安	(市) 生活道路対策A	カラー舗装等	北九州市	■	■	■	■	■	330	-		
A-5	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	国道	交安	(国) 自転車通行空間	自転車通行空間整備	北九州市	■	■	■	■	■	350	-		
A-6	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	都道府県道	交安	(県) 自転車通行空間	自転車通行空間整備	北九州市	■	■	■	■	■	250	-		
A-7	道路	一般	北九州市	直接	北九州市	市町村道	交安	(市) 自転車通行空間	自転車通行空間整備	北九州市	■	■	■	■	■	430	-		
A-8	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	曽根苅田線	L=0.5km	北九州市	■	■				100	-		
A-9	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	9号線 (高野工区)	L=1.8km	北九州市	■	■				200	-		
A-10	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	新設	7号線 (富士見工区)	L=0.4km	北九州市	■	■	■			330	-		
A-11	街路	一般	北九州市	直接	北九州市	S街路	改築	大門木町線 (大手町第2工区)	L=0.4km	北九州市	■	■	■	■		300	-		
											合計						4,210	-	

B 関連社会資本整備事業														全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)										
									R8	R9	R10	R11	R12						
											合計						0		

C 効果促進事業														全体事業費 (百万円)	備考			
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)							
											R8	R9	R10			R11	R12	
											合計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

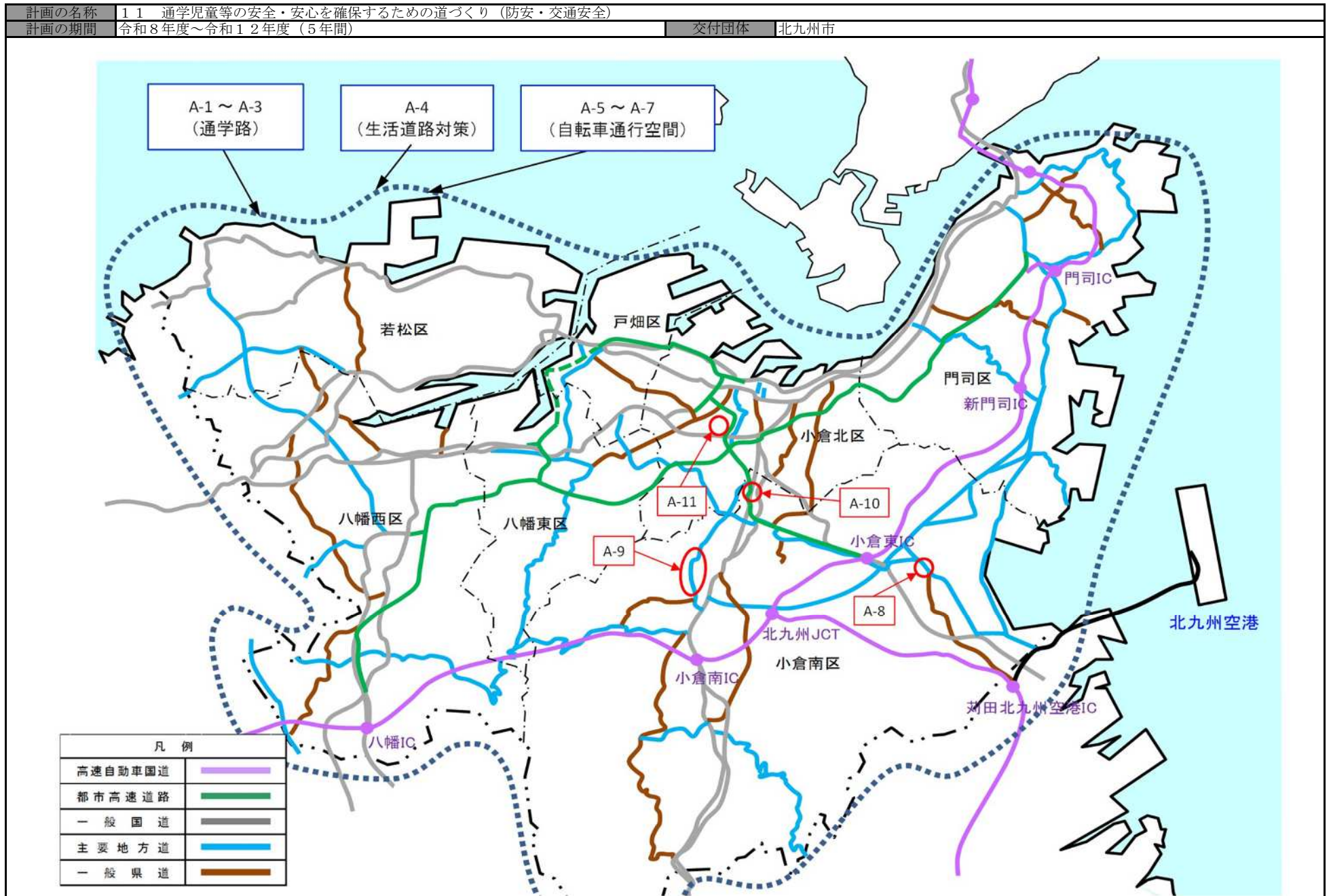
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											R8	R9	R10	R11	R12		
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R8	R9	R10	R11	R12
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)					
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))					
未契約繰越+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)



社会資本整備総合交付金 事前評価チェックシート

(道路事業)

計画の名称: 11 通学児童等の安全・安心を確保するための道づくり(防安・交通安全)

I. 目標の妥当性	
①上位計画との整合等	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
整合を図っている上位計画名を記載。	北九州市道路整備中長期計画
2) 広域的な道路計画や災害リスクが勘案されている。	○
②目標の客観性・具体性・地域性	
1) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
2) 地域の課題を踏まえた目標が設定されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤計画の具体性・円滑な事業執行の環境	
1) 計画・事業の熟度が十分である。	○
2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○
3) 計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○